

*Beginner's Simultaneous
Interpretation by Whispering*

はじめての

ウイソパリング 同時通訳

柴田パネッサ 著

南雲堂

Acknowledgements

for their invaluable suggestions and contributions

水野五行

Rhonda Anderson

Ian Harrison

Greg O'Dowd

青木泰祐

Herman Bartelen

Mick Hasegawa

M. Twayne

T.J. Arata

Milton Comb

Marvin Hoffmann

Robert West

June Arata

Anton Goodings

Douglas Marvin

はじめに

英語を話す機会を十分に持たない人でも、通訳技能のトレーニングを行うことによってコミュニケーション手段としての英語総合力をアップすることができます。

通訳の基礎訓練は非常にバラエティに富んでいます。その利点は、どのようなレベルの方にも対応できる学習システムにあります。

タスク(課題)、目標、自己評価の査定基準が明確に設定できるため、トレーニングの一つ一つを通して弱点を発見し、そこを強化することができます。

本書は、初心者のためのリスニングとスピーキングのスキル強化を重視し、より基本に忠実で、システマティックなトレーニングを紹介します。そしてこれらのトレーニングを通して皆さんにウィスパリング通訳は決して難しいものではないということも理解して頂けると思います。通訳がクライアントの耳元にささやき声で同時通訳するのがウィスパリングです。これは少しの訓練でビジネスや社交に活用できます。プロのトレーニング方法を利用して強力なニュー・スキルを身につけて下さい。

目 次

はじめに	3
通訳トレーニングのアプローチ	9
通訳訓練法の特徴	10
通常の語学学習との違い	11
学習者の第一目標	12
学習のメニュー例	13

Part 1 入門基礎

Lesson 1	リスニング・パワーアップ	16
§ 1	トレーニング・メソッドの紹介	16
§ 2	場面設定通訳練習	20
	For Study : Check Your Reading Speed	22
Lesson 2	リピーティング：区切り聞き I	23
§ 1	トレーニング・メソッドの紹介	23
§ 2	区切り聞きリピーティング	25
	For Study : Check Your Reading Speed	26
Lesson 3	単語のクイック・レスポンス	27
§ 1	トレーニング・メソッドの紹介	27
§ 2	クイック・レスポンス・テープ制作方法	30
§ 3	日英通訳練習 1	32
	For Study : QR テープ制作方法	34
Lesson 4	セグメント判断	35
§ 1	トレーニング・メソッドの紹介	35

§ 2 日英通訳練習 2 37

Lesson 5 数字のクイック・レスポンス 39

§ 1 数字の転換練習 39

§ 2 場面設定通訳練習 41

For Study: Check Your Reading Speed 43**Lesson 6 シャドーイング** 45

§ 1 トレーニング・メソッドの紹介 45

§ 2 シャドーイング課題 47

For Study: シャドーイング練習 49**Lesson 7 頭ごなし訳のテクニック I** 51

§ 1 頭ごなし訳出法の紹介 51

§ 2 場面設定通訳練習 59

For Study 61**Lesson 8 頭ごなし訳のテクニック II** 63

§ 1 基本テクニック 63

§ 2 場面設定通訳練習 70

For Study 72**Part 2 実力養成****Lesson 9 サイト・トランスレーション** 74

§ 1 トレーニング・メソッドの紹介 74

§ 2 日英通訳練習 3 78

For Study 80**Lesson 10 リテンション練習** 83

	§ 1 トレーニング・メソッドの説明	83
	§ 2 リピーティング練習	84
Lesson 11	内容先取りの戦略	87
	§ 1 トレーニング・メソッドの紹介	87
	§ 2 文章の分析による推測	91
	§ 3 場面設定通訳練習	93
Lesson 12	予測の戦略	95
	§ 1 予測が裏切られた場合の対処	95
	§ 2 内容先取りのための基本語句	96
	For Study : リピーティング演習	99
Lesson 13	区切り聞き II	101
	§ 1 トレーニング・メソッドの紹介	101
	§ 2 区切り聞き II	102
	For Study : 区切り聞き II	103
Lesson 14	同時サイト・トランスレーション	107
	§ 1 トレーニング・メソッドの紹介	107
	§ 2 日英通訳練習 4	113
Lesson 15	ミッシング・ワーズ：文脈からの推測	115
	§ 1 トレーニング・メソッドの紹介	115
	§ 2 ミッシング・ワーズ	116
	For Study : Check Your Reading Speed	119
Lesson 16	通訳メモ	121
	アプローチ	121

メモ取り練習のための確認事項	121
§1 メモの取り方	122
§2 メモ取り通訳練習	127
For Study : メモ取り通訳練習	128

Part 3 応用演習

Lesson 17 サマライゼーションと要約通訳	132
§1 サマライゼーション練習の紹介	132
§2 要約通訳トレーニング・メソッドの紹介	134
For Study : リピーティング練習	137
Lesson 18 ウィスパリング同時通訳	138
§1 トレーニング・メソッドの紹介	138
§2 ウィスパリング通訳課題	139
For Study : Check Your Reading Speed	141
Lesson 19 リライティング	143
§1 トレーニング・メソッドの紹介	143
リライティング	144
§2 場面設定通訳練習	146
Lesson 20 センテンス逐次通訳	148
§1 トレーニング・メソッドの紹介	148
§2 センテンス逐次練習	149
For Study : Check Your Reading Speed	152
Lesson 21 パラフレージングとリプロダクション	153
§1 パラフレージング	153
§2 リプロダクション	154

	<i>For Study</i> : リピーティング練習	156
Lesson 22	短いパラグラフ逐次通訳	158
	§1 トレーニング・メソッドの紹介	158
	§2 短いパラグラフ逐次課題	159
	<i>For Study</i> : Check Your Reading Speed	163
Lesson 23	ワン・センテンス遅れ通訳の練習	165
	§1 トレーニング・メソッドの紹介	165
	§2 ワン・センテンス遅れ通訳	165
	<i>For Study</i> : Check Your Reading Speed	167
Lesson 24	簡単な同時通訳	169
	§1 トレーニング・メソッドの紹介	169
	§2 簡単な同時通訳日英課題文	170
	テクニックの確認	172
	<i>For Study</i> : 実力養成英日課題文	172
	区切り聞きマテリアル : ケネディ大統領のスピーチ	175

通訳トレーニングのアプローチ

皆さんは、どうやって日本語を覚えましたか？

お母さんは、紙にセンテンスを書き、語彙のリストを作ってくれましたか？ 答えは“ノー”ですね。お母さんは、生活に必要なことや、やさしいセンテンスを、あなたが分かるまで何回も繰返してくれましたね。通訳トレーニングのプロも、この学習方法（リスニングと実際の音声練習）が一番効果的だと考えています。

上記の方法で皆さんも日本語をマスターしてこられたとすると、この日本語学習法を応用し、その内容を濃縮して学習すると、より短い時間で確実に語学を習得できます。学校の英語は日常生活で相手の言ったことに対応出来るようにするコミュニケーション重視の学習法ではないこともわかります。皆さんに必要なのはもっと聞き、もっと口頭練習することです。わかるまで聞き、自分で言えるまでの反復練習が語学マスターの最短距離なのです。そして、最短距離勉強法の先端に通訳の基礎訓練メソッドがあります。

外国語でのコミュニケーションをスピーディに行えるようにするため、また語学の総合力を強化するには通訳のトレーニングが最も効果的です。それは、通訳トレーニングの中心がリスニングによる知識のインプットと音声によるアウトプット練習だからです。まず自分の中に、特に耳から、確実な情報や充実した内容を入れてから、フィードバックをするという“お母さんの日本語教授法メソッド”の応用です。

さて、外国語勉強の方法が通訳訓練法だと特定できました。次に明確にしなければいけないのは、通訳訓練を受けても、あまり語学が上達しないかもしれない人のことです。“語学が上達しない人”とは練習のために“口を動かさない人”または“声を出さない人”です。口が動かない人は、頭から口への命令伝達を速める練習が出来ない人ですから、上達に時間がかかります。

適正なコミュニケーションにはある程度のスピードも必要です。応答に時間がかかり過ぎると、相手にあきられたり、ひどい時には、知恵遅れだと判断されたりすることさえあるのです。聞いて話すという通常の訓練だけでなく、瞬時に反応する訓練が必要です。つまり同時通訳の基礎訓練が必要なのです。そして皆さんの目標は、英語による思考回路をなるべく日本語の思考回路と同程度に自分自身の中に確立していくことです。この回路建設は語学を習い始めると同時にスタートするのが理想的です。ですから本書のプログラムには、逐次通訳と同時通訳両方の基礎訓練法が組み入れてあります。ワン・レッスンを一週間で学習します。

通訳訓練法の特徴

通訳訓練は単なる語学学習ではなく技能訓練です。具体的に言うと特にリスニング技能、スピーキング技能を発展強化するためのトレーニングです。では、まず、通訳者が通訳を行うためどのような技能が必要とされるか確認しましょう。

通訳は、まずスピーカーの話を聞きます (Listening)。次にその内容をインプット (情報処理・保持) し、スピーカーの話に一段落ついた時、それをスピーディに訳出します (訳出・表現力)。通訳はスピーカーに代わって話の意図をはっきりと伝えなければなりません (デリバリー)。通訳訓練ではこれらの事項ごとに訓練を行います。

第一強化ポイントは語彙力です。ちなみに、英語の実力を一段階上げるには約 2000 語の語彙増強が必要です。これは英検準 2 級の人が 2 級に、2 級の人が準 1 級に、準 1 級の人が 1 級に昇格するために最低限必要な語彙数です。これは毎日またはまとめて週に一回定期的に学習します。

第二番目がリスニング力と集中力の訓練で、これを同時に強化します。

そして、瞬時訳出の訓練となります。学習方法は繰り返して聞き、繰り返して音声化することによって瞬時に訳出できるまで語句や表現を定着させるものです。

トレーニングを続けていくうえで中核となるのは通訳方式のポキャビル練習（クイック・レスポンスによる語彙の増強）、日本語から英作文することを避けるための、英語の語順でセンテンスを理解する練習（サイト・トランスレーション）、そしてリスニングの基礎練習（区切り聞き）になります。これらは毎日の学習メニューに載せなければならないものです。

またある程度、訓練が進んだ時点でメモ取り練習がそれに加わります。まとまった情報の主旨を、時間をかけずに押さえる技術は少しの訓練で効果があります。スピーチを聞き、メモを取り、それを基に発表するには“技能”訓練が必要です。このメモ取り技術は通訳業務のみでなく、あらゆる場合に活用できるものです。

通常の語学学習との違い

通訳の基礎訓練では、語学だけではなく、他の能力も同時に訓練することを目指しています。

(1) 集中力訓練

同時通訳のように、二つ以上の異なった作業を同時に行うためには集中を通常以上に保つことが必要だからです。

(2) 記憶力訓練

文をセグメントごとに区切り、即時転換を行う“区切り聞き”練習ではセンテンス全文を意識的にリテイン（記憶）していきます。

(3) 即時反応のための訓練

同時通訳訓練をすると、英文を聞いたとき、文の意味を理解しているにもかかわらず簡単な単語さえ言語化できない事や、聞いていたときはわかっていたのに、いざ訳出しようとしたら、全部忘れていたという場合が多々あります。即時訳出のための心がまえを保ちながら“真剣勝負”のために、日本語と英語の両方の回路に電気が常時流れている状態にしておかなければなりません。

(4) ノート・テーキング練習

ある程度の長さのパスセージを通訳する場合、メモは必要不可欠です。いざ、メモを取ろうとすると手が思ったように動かないことに気が付きます。そして、制限された時間の下でやっと書いたメモを読み直してみると自分の書いたものが判読出来ないことが多々あります。通訳学校に通いながら多くの人が挫折していく原因の一つがノート・テーキングの難しさにあると言えます。即座にまとめ最小限のメモで記憶を呼び起こしていくためには、技能としての“メモ取り”訓練が必要です。

学習者の第一目標

英検準2級から2級のレベルの人の目標

仲介通訳，要約通訳，

善意通訳，ボランティア通訳

2級以上～準1級レベルの目標

ウィスパリング同時通訳

準1級レベル以上～の目標

パラグラフ逐次通訳

通訳技術の取得目標は英検準2級から2級のレベルの人は、まず仲介通訳、要約通訳ができるようになることです。仲介通訳とは、パーティーなどで、英語の出来る人が英語の出来ない人のために、外国人の会話内容をちょっとかいつまんで話して聞かせるようなことです。要約通訳とは、ある程度まとまったパスセージを、メモを取りながら聞き、1/3位に大意要約して通訳することを言います。

準1級またはこのレベルと同等、もしくはそれ以上の人は、同時通訳の一種であるウィスパリング通訳ができるようになることを目指して下さい。ウィスパリング通訳はテレビでよく見られます。芸能通訳などが外国人タレントの後ろに立って、ささやき声で同時通訳しているのを見たことがない方はあまりいらっしゃらないでしょう。これらの技能は、誰でも習得できるものです。まずはトレーニング・メソッド自体を学ぶというつもりで挑戦して下さい。

学習のメニュー例

1. QR 単語変換 5 min → シャドーイング 3 回 → サイトラ 15 min
→ 逐次訳 2 回
2. 通訳技法の課題と演習法
3. テキストの分析手順
 - (1) 黙読 セグメントの判断。スラッシュを書き入れながら不明点をマーク
 - (2) 語彙・語句 わからない語彙や語句を辞書でチェック
 - (3) サイトラ スラッシュごとにサイトラ
 - (4) 区切り聞き 頭ごなし訳
 - (5) メモ化・分析 スクリプトの内容をメモ化する。
 - (6) スピーディ音読またはシャドーイング
 - (7) 同時通訳
4. Independent studies
 - (1) 時事, 政治, 経済, 金融, 情報関連の話題と語彙に慣れる。
 - (2) 総合的言語運用練習 パネル・ディスカッション
5. リスニング力 180 wpm を目指したスピード・リーディング練習
 - (1) 自分の(情報処理)リーディング・スピードを測定する。
 - (2) ターゲット・パッセージを一日 5 回聞く。
 - (3) パッセージを一日 10 回音読し, リーディング・スピードを上げる。
 - (4) ディクテーション練習
 - (5) スクリプト無しでサイレント・シャドーイングする。
 - (6) 完全にシャドーイングできたら次のマテリアルに移る。

PART 1



入門基礎

Lesson 1

リスニング・パワーアップ

— Listening —

§1 トレーニング・メソッドの紹介

リスニングをパワーアップするには、まず自分の音読スピードを知ること、これが必須条件です。

さて、あなたの日本語の直読直解力を試してみましょう。

新聞か、一般向けの雑誌を用意して下さい。その中の記事の一つ選びます。そして、それを声を出して60秒間読んで下さい。だれかに読み聞かせるように、内容が100%理解できる速さで読み進みます。60秒したらそれを止め、読み終えた語数を調べて下さい。

仮にそれが200語だったすると、あなたの日本語リーディング・スピードは1分間に200語になります。あなたは、その記事を1分間に200語の速さで読み、内容を全て理解しました。では他の人、例えば友達がその記事を1分間に200語の速さであなたに読んで聞かせてくれたとします。あなたはそれを理解できないでしょうか？“1分間に200語”はあなたの音読スピードと同じですから、あなたは無理なく友達の音読に付いてゆくことができますでしょう。

基本コンセプト

自分の音読スピードと同じスピードで読まれた、
または、発表されたスピーチ内容は理解できる。

次に、以下の *The Pleasure of Musicals* を1分間音読して下さい。もし、知らない語があっても、読み飛ばし、大体の内容が理解できるスピードで読みます。1分たったなら、そこで止め、そこまでの単語数を数えて下さい。ディテールはさておき、大意はつかめていることが条件です。

音読課題文

The Pleasure of Musicals

(N. Carver)

My father was a professional musician, and music was always part of my family. Since I was a little girl I sang in the school chorus and many of the songs I learned were from American musicals. My favorite musical was and still is “The Wizard of Oz” which was adapted from an American children’s story.

I can still remember eating lemon drops while watching Dorothy (Judy Garland) sing “Somewhere Over the Rainbow” on television. I was seven years old then and every time I hear that song, I’m seven years old again.

Musicals are an integral part of American culture. From the time we are in grade school, we are taught to sing, act and dance in school musical productions. Most Americans know several songs from musicals but don’t realize that the song is from a musical. The first musical I can remember being in was “The Mikado.” I was in junior high school and I played a Japanese princess. I got to wear a kimono and carry a Japanese fan. It is one of my best childhood memories. (Maybe that’s why I came to Japan.)

Did you know that musicals are an American invention? Most Americans don’t know that. Musicals were originally a combination of opera and vaudeville. Musicals can be dramas or comedies but most musicals are comedies or at least have light-hearted themes.

1分間に200語、読み切れましたか。200語読み切れ、内容を全部理解した人は、以下の説明を飛ばして実力養成タスクに進んで下さい。

1分間に200語読み切れなかった人は、ここでスピード・リーディングのトレーニング・メソッドを習得して下さい。

この文章は難しい文章ではありませんから、ネイティブがこれを音読したら、1分間に最低200語は読んでいるでしょう。このネイティブがあなたに1分間に200語でこれを読んで聞かせたら、あなたはそのスピードに付いて行くことができないかも知れません。

ではどうすれば良いでしょうか。答えは、あなたのスピードをネイティブ並みにすれば良いのです。1分間に200語読みきれるまで音読練習をします。

通常ネイティブ同士が会話した場合、スピーキング・スピードは1分間に130～160語位です。ということは、一般のネイティブ向けに書かれた『タイム』や『ニューズウィーク』や『リーダーズ・ダイジェスト』などが1分間に160語±10の速さで読んで理解できるレベルです。従って、皆さんの最終目標は『タイム』等を毎分160語で音読して内容を理解できるようにすることです。これが毎分160語で話されるスピーチを聞き取れるようになるための、自分でできる訓練方法です。

音読での直読直解力を強化することがリスニング力をアップする基盤になるのです。

The Pleasure of Musicals を読んで1分間のリーディング・スピードが100語以下だったら、まずあなたの目標は1分間に120語読めるようにすることです。そして、1分間に120語読める人は140語読めるようになることが目標です。目標に到達するまで音声精読を繰り返し、次の素材には移りません。ちなみに、現在、もし1分間に120語読めるのでしたら、それを1分間に160語にするには、同じ素材を15分位繰り返して音読することが必要です。

自己リーディング・スピード確認のためのタスク

学習者の直読直解力の強化により、リスニング力を高めることができます。自分が速読で理解できるものは、相手が速い音読をしても理解できるはずであるという考え方が基本になっています。

Task 1 リーディング・スピード確認

Method ネイティブ用に書かれた文書を小声で音読し、1分で読める語数を測定します。

自分の音読1回で、内容が7割以上理解できることが最低条件です。

Aim 自己のリーディング・スピードを確認し、スピード・アップのための目標を各自設定して下さい。

入門レベル 黙読スピード毎分 140 語を目標

実力養成レベル 黙読スピード毎分 160 語以上を目標

上級レベル 黙読スピード毎分 180 語以上を目標

Notes この練習は黙読速度を測定することによっても行えますがコミュニケーション技能を強化する目的を考えると音読スピード測定の方が効果的であると言えます。

実力養成

Task 2 リスニング速度の確認

Method スクリプトのあるリスニング用のテープを1分間聞き、この間に話されたワード数を数えてみます。

英検や TOEIC 等、有名な試験のリスニング・マテリアルのリーディング・スピードは1分あたり何ワードのスピードか、またネイティブ・スピーカー同士が会話している場合の平均スピードは毎分何語か確認して下さい。

9.2 場面設定通訳練習

ちょっとした挨拶やスピーチを急に頼まれて慌てたり、困った思いをなされた経験はありますか。内容はともかく、敬語もうまく使いこなせないで顔が赤くなり、何をどう話したか覚えてない、なんていう経験はどうですか。母国語でさえこんな時は少し慌てますから、公式、準公式、ビジネスの場でよく使われる慣用的表現は、あらかじめ練習し、定着させておく必要があります。

このセクションでは通訳の三大ジョブであるリセプション、カクテル・パーティー、ビジネス・プレゼンテーションの場などにおけるモデル・スピーチを学習します。

人は時と場合により、服装や髪形を改めます、もちろん言葉も例外ではありません。リセプションのようにフォーマルな場合と、うちとけた雰囲気のカクテル・パーティーとでは、スピーチの形態も語彙も違います。式典ではやや格式張った儀礼的スピーチ、カクテル・パーティーでは短いしゃれたスピーチが喜ばれます。

Task 1 典型的なスピーチの模擬通訳

Material 教材のスピーチ・スピードは1分120±10ワードとします。原則としてスピーチはまずナチュラル・スピードで1回読まれ、次に逐次通訳またはリピティング練習用にポーズを付けたスロー・スピードで読まれます。(メモ取り可能)

Aim スピーチの構成を分析し、通常のスピーチ構成を学びます。

Method 全文を一度通して聞いてからリピート、次に、センテンスごとに訳出します。

日本語文を聞いて、即時、英語通訳ができるまで練習します。この際、指定の表現以外は、英文のオリジナルと同一にする必要はありません。自分の英語で、同じ内容、意味あいが伝われば目標達成とします。目標再現率：70%以上

場面設定通訳練習

歓迎会



welcome party	歓迎会
have jet lag	時差ぼけになっている
On behalf of	を代表しまして
express our gratitude	お礼を申し上げる
are honored to	は光栄です
getting to know you	皆さんにお会いして
hospitality	暖かいおもてなし

呼掛け

Ladies and gentlemen.

お礼

Thank you very much for inviting us to this welcome party.

We are honored to be here tonight.

On behalf of our group, I would like to express our gratitude.

希望

We arrived here last night, and perhaps we still have jet lag.

But I am sure we are going to have a wonderful time getting to know you.

お礼

Thank you very much again for your hospitality.

皆さん、歓迎会にお招きいただきありがとうございます。

今晚、ここに列席できますことは光栄です。

私どもの団体を代表しまして、お礼を申し上げます。

私どもは昨晚こちらに着いたばかりで時差ぼけがあるかもしれません。しかし、皆様にお会いして素晴らしい一時を過ごせることを確信しております。

暖かいおもてなしに対して改めてお礼申し上げます。

For Study Check Your Reading Speed**The Pleasure of Musicals 2**

In an American musical, the theme is usually something to do with America or American culture. That's why musicals are very useful for studying American culture. Examples of musicals with American themes are "Oklahoma," "Porgy and Bess" and "Grease." "Oklahoma" is about American farmers, "Porgy and Bess" is about African-Americans and "Grease" is about American teenagers.

Most musicals feature bright and extravagant costumes like "My Fair Lady" or "The King and I." Some are even more out-landish like the musical "Cats" where all the characters dress as cats. On the other hand, you have musicals like "Hair" where we had for the first time, actors standing naked on stage! Well, at least their costumes weren't expensive.

Although some musicals are created in Hollywood, California for the movies, most musicals come from Broadway in New York. Even today, new musicals are being written and performed on Broadway. "West Side Story," which is an adaptation of Shakespeare's "Romeo and Juliet," ran on Broadway for many years. Some musicals come from England. "Oliver" is one of them. The story takes place in England and all the music was written by Englishmen and was adapted from a book written by Charles Dickens.

If you are interested in learning more about musicals, I suggest your local video store. I've noticed that in Tokyo you can get many musicals on video tape. Don't worry about understanding every word, just try to get the feeling from the action and enjoy the singing, dancing and costumes.